

◆事業概要

平成21年度より介護の仕事の普及啓発イベント「介護のコト体験フェア」を実施。平成28年度からは若年層を中心とした幅広い世代を対象として、保育・障害も含めた福祉の仕事の魅力を発信するイベント「TOKYO SOCIAL FES」を実施した。

平成30年度以降は、開催日や会場などの制約に縛られず、広がりを持った普及啓発を実施するため、通年のキャンペーン方式に転換。シンボルとして、(株)サンリオとライセンス協定を締結し、「ハローキティ」を「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」に任命。

ハローキティの訴求力を生かしながら、様々な媒体を活用し福祉の仕事のイメージアップに取り組む。



◆2018年度から2020年度までの主な取組

<2018年度>

- 「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」任命式
- 福祉の仕事の魅力を伝える普及啓発動画を作成し、新宿駅東口ビジョン等での放映や、YouTube広告を実施
- 「保育のおしごと応援フェスタ」、「福祉の仕事就職フォーラム」でのキティ出演、ノベルティグッズの配布

<2019年度>

- 現場の方が福祉の魅力を語る動画を作成し、新宿駅西口地下通路等での放映や、YouTube広告、Twitter広告を実施
- 「マイナビ学生の窓口」への学生と現場職員との座談会広告記事掲載
- 冊子、リーフレットを作成し都内中学校、就活イベント等で配布
- 学園祭（大正大学、東洋大学）でのブース出展や、渋谷駅構内で展示イベントを実施
- 「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」特設サイト、Twitterアカウント開設
- 「保育のおしごと応援フェスタ」でのブース出展、ノベルティグッズの配布

<2020年度>

- 都内の主要駅（新宿駅等）や街頭ビジョンでの動画放映、YouTube広告を実施
- 2019年度に作成した冊子、リーフレットを増刷し、冊子は都内全中学2年生に（約120,000部）リーフレットは都内全大学（約37,000部）及び就活イベント（10,000部）で配布
- コロナ禍の影響を踏まえ、若年層を対象にスマートフォン版Yahoo!Japanトップページでのバナー広告の実施
上記の他にも、福祉人材関連の各事業でハローキティのデザインを活用



◆2021年度の展開予定

引き続きハローキティをイメージキャラクターとして起用し、若年層に対し福祉の仕事のイメージアップを図るとともに、コロナ禍の状況を踏まえ、転職者層を想定した広告も実施する。また、就職活動イベントを活用し、より具体的な訴求を図る。

（取組内容）

- 若年層を対象としたSNS広告の実施
- 転職者層を想定したインターネット広告の実施
- 就職活動イベントでのブース出展

- 左記に加え、引き続き「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー事務局」公式Twitterで情報発信を行うほか、福祉人材関連の各事業において広くハローキティを活用していく。

